

2024 年 12 月 8 日（日）第二礼拝「救いの喜び」詩篇 51 章 11～12 節

「救いの喜び」は、イエス様の恵みを信じて救われた人の魂の奥底から湧きあがるものです。この救いの喜びは、聖霊様と共に活性化されていき、この世を生き抜く力となります。しかし、この喜びがなくなるならば、生きる意欲を失い、孤独と虚しさに陥ります。

第一番目、救いの喜びの回復です。アダムとエバは神様の命令に背き、エデンを失いました。エデンの意味は「喜び」です。エデンには、いのちの木の実と善悪の知識の木の実がありました。いのちの木の実が神様の御言葉です。聖霊様と交わり、いのちの木の実を味わう時、そこには溢れるほどの喜びがあります。しかし、サタンの言葉である善悪の知識の木の実を食べる時、悪魔と交わり、喜びが失われてしまいます。「全ての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず、」（ローマ 3：23）人は罪を犯したため、神様からの栄誉である天の喜びを受けることができなくなりました。「罪から来る報酬は死です。しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。」（ローマ 6：23）神様がイエス様を通して永遠のいのちを与えてくださり、再び、エデン(喜び)を回復してくださいました。この救いはただ神様の恵みです。私たちの努力や働きによるものではありません。「神は私たちを救い、また、聖なる招きをもって召してくださいましたが、それはわたしたちの働きによるのではなく、ご自身の計画と恵みとによるのです。…」(Ⅱテモテ 1：9)

第二番目、聖霊様を招待することです。「聖霊様、一緒にしてください。聖霊様、あなたを歓迎します。あなたを喜びます。」と言う時、聖霊様の喜びが私たちのうちに湧きあがり、大きなことであれ、小さなことであれ、聖霊様が一緒にしてくださいます。聖霊様は、私たちが招くところに来てくださいます。子どもが親に何かを要求するなら、親は子どもにそれを与えるように、聖霊様もまた、私たちが求める通りに一緒にしてくださいます。ですから、聖霊様を私たちの日常生活に招待することが大切です。これは、救いの喜びを持続することに繋がります。「主をおのれの喜びとせよ。主はあなたの心の願いをかなえてくださる。あなたの道を主にゆだねよ。主に信頼せよ。主が成し遂げてくださる。」（詩篇 37：4～5）

第三番目、永遠の喜びです。地上の喜びには限りがありますが、永遠の喜びには限りがありません。パウロはこの地上において多くの迫害や苦難に遭いましたが、そのような中で天にある喜びを体験しました。そして、そのあまりの素晴らしさに、「私は、その二つのものの間に板ばさみとなっています。私の願いは、世を去ってキリストとともにいることです。実はそのほうが、はるかにまさっています。（ピリピ 1：23）」と言いました。当時、ローマ市民権は特権でしたが、天の国籍は、それとは比べることのできないほどの素晴らしいものなのです。「…私たちの国籍は天にあります。そこから主イエスキリストが救い主としておいでになるのを、私たちは待ち望んでいます。」（ピリピ 3：20）天にあるものを求めていく時、天と地が一つとされ、天の永遠の喜びが私たちに臨みます。それはこの地上における、あらゆる問題にも勝利する力となるのです。アーメン！